

なとりがわ

■ N a t o r i g a w a ■

「朔風払葉 (きたかぜこのはをはらう)」



管内が紅葉に包まれています(荒川)

小雪の次候に変わり、冷たい北風が、木の葉を散らす頃となりました。「朔風」とは北風のことで、木枯しを指します。葉を落とした木々の冬景色はどこか淋しげで、草木は一見枯れてしまったようにも見えますが、木の枝には小さな芽が出始めています。土に落ちた木の葉は「望み葉 (のぞみば)」といい、土の中で肥料となり、めぐりめぐって春を迎える植物の栄養となるのです。こうして草木は新たな季節に向けた準備をすでに始めているのです。

■ 令和元年度台風19号出水の状況について

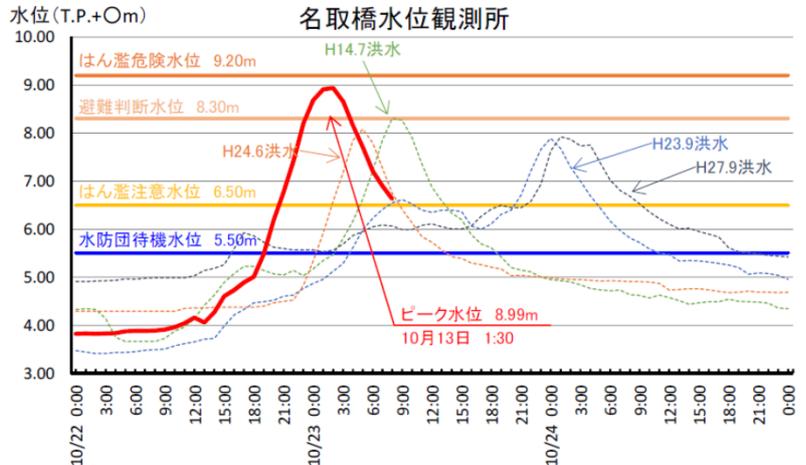
○台風19号の影響により10月12日夕方から、東北地方の広い範囲で非常に激しい降雨となり、累加雨量は東北管内の多いところで600mmを超過しました。

○名取川水系名取川の「名取橋」観測所で観測史上最大の水位を更新しました。名取川出張所管内では、名取川においてレベル3となる避難判断水位を超過しましたが、堤防決壊や漏水箇所はありませんでした。

● 既往洪水における最高水位

名取川水系名取川の水位状況

| 河川名 | 名取川 | 広瀬川 |
|------|---------------|---------------|
| 観測所名 | 名取橋 | 広瀬橋 |
| 1位 | 令和元年10月 8.99m | 平成27年9月 2.40m |
| 2位 | 平成14年7月 8.31m | 平成元年8月 2.22m |
| 3位 | 平成6年9月 8.12m | 令和元年10月 2.12m |
| 4位 | 平成24年6月 8.08m | 昭和57年9月 2.09m |
| 5位 | 平成27年9月 7.99m | 平成14年7月 1.94m |
| 6位 | 平成23年9月 7.89m | 平成24年6月 1.85m |
| 7位 | 平成元年8月 7.74m | 昭和61年8月 1.80m |
| 8位 | 平成6年9月 7.74m | 平成6年9月 1.71m |
| 9位 | 昭和57年9月 7.65m | 昭和63年8月 1.70m |
| 10位 | 昭和61年8月 7.65m | 平成元年8月 1.64m |
| 今回 | 令和元年10月 8.99m | 令和元年10月 2.12m |



※詳細につきましては、仙台河川国道事務所HPをご覧ください。



仙台市東大野田 名取橋

名取川名取橋(7.6k付近)



仙台市若林区河原町 広瀬橋

広瀬川広瀬橋(3.6k付近)



太白大橋

名取川



千代大橋

広瀬川

10/14 ドローンにて撮影

国土交通省の施策「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」として、今年度より3年間で集中的に事業が実施されています。管内でも、樹木伐採・河道掘削、堤防強化対策等の水害・土砂災害から国民の命を守るためのインフラを強化する事業が行われています。地球温暖化等の要因により毎年各地で豪雨災害に見舞われる昨今、今後も管内の河川事業を進めてまいります。

■管内の工事現場だより■

広瀬川長町地区漏水対策整備工事
千田建設(株)
現場代理人 庄司 智晴さん

広瀬川右岸上流漏水対策整備工事
(株)橋本店
現場代理人 大川 悠哉さん



国土交通省の施策『国土強靱化対策』の事業として、広瀬川堤防の漏水を抑制し、強固な堤防を作るため工事です。

工事は、八本松マンション付近から上流に約350mの区間で、鋼矢板の打込み、堤防天端舗装等を行っています。

施工中は重機の稼働、工事車両や資材搬入車両の通行でご迷惑をお掛けしていますが、安全優先で早期完成を目標に施工しております。

皆様のご理解・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

サイレントバイラーという機械を使用することで、音の大きいクレーンでの打ち込みよりも騒音を大幅に減少させ、さらに、堅い土の層や玉石等が混ざっている様な場所についても、容易に鋼矢板を打ち込むことができます。

工事は河川が増水した時に堤防の下にある層(水を通しやすい層)から住宅側へ浸水してくるのを抑制させる為に川側に鉄の板を打ち込み遮水し洪水被害を防止する事と堤防を大きく(幅広く)しより強靱な堤防を作る工事です。これらは国土交通省の施策「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」事業の一環であり地域の防災のために行われております。施工中は堤防上や河川敷を通行止めとし地域の皆様へはご迷惑をお掛け致しますがご理解・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

